

リフォーム戦略シリーズ
各社の取組み

大規模増加、人材に独自の取組み

ポラスのリフォーム 望月 真 事業責任者に聞く



「ポラスのリフォーム」責任者の望月 真 部長

ポラスグループのリフォーム事業は埼玉県で実績No.1である。ポラスグループのリフォーム事業実績は2013年度売上高が79億5000万円。さらに成長を

目指しており、リフォーム事業で100億円体制を構築している。ポラスグループのリフォーム事業の中核を担っているのが「株式会社ポラスのリフォーム」だ。注目されるのは新入社員は1年〜1年半の間、工事課に配属させるなど独自の人材育成を行っていることだ。単に営業ト

ックの上手な人材としないためであるが、ここにもポラスグループの理念がうかがえる。ポラスグループは埼玉県において地域に密着した住宅事業を行っており、リフォーム事業においても信頼性の面から競合しても負けないという自信がある。

最近特に力を入れているのが大規模リフォームで、修繕型から提案型へシフトしている。定価制フルリフォーム「再新の家」の投入が大規模リフォームの受注で成果となっている。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」投入で大規模リフォームで成果が出てきたのは、新たに開発した定価制フルリフォーム「再新の家」を2011年（平成23年）1月に投入してからだ。フルリフォーム価格を坪18万円（30坪の場合、消費税込）と20万円以下に設定している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

て、建っている場所でも中古住宅を選んで「ここを指す」という。年齢別にみると、既存の自宅のリフォームは55歳〜60歳くらいの人に多く、購入した中古住宅をリフォームするのは30代〜40代の人が多いと分析する。

「再新の家」投入で大規模リフォームで成果が出てきたのは、新たに開発した定価制フルリフォーム「再新の家」を2011年（平成23年）1月に投入してからだ。フルリフォーム価格を坪18万円（30坪の場合、消費税込）と20万円以下に設定している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

「再新の家」の平均価格は800万円。なお、全体の平均は160万円。さらに、13年度からマンション対象の「再新の家」を発売、70㎡程度の面積で一般的には㎡当たり5万円超となっている。それに対して「再新の家」では㎡当たり4万8千円を実現している。

その理由について望月部長は「人材育成を最優先している。上面のトールが上手いだけではリフォーム事業を進展させることは難しく、工事についてしっかり説明できないと、リフォーム営業は「結末うまく話をしても契約をしても工事で失敗すると、信頼を損なわれて次へつながらない。リフォームで失敗したら二度とのお客様はポラスに帰ってこない」という。望月部長は「今はリフォーム事業者が乱立しているが、将来的にはリフォーム事業者は淘汰される時代になる」と厳しく予想する。その理由としてあげるのが「単に修繕や設備の交換をするのではなく、リフォームに対するユーザーの期待が変化しており、その先を行かないとリフォーム事業として成長できない。これからは住まいをリフォームすることで、耐震性や断熱性能はどれくらいになるのかという質問がされるようになってくる」という。また、「建築の知識だけではリフォーム営業は務まらない。中古住宅はもろろん、税務、相続など幅広い知識をしっかりと習得して、それをしっかり説明できる会社でないと残っていない」ともいう。そのためにも人材育成が最も大事で、リフォームをしたお客さんが再び戻ってくるような対応・提案がしっかりとできるようにしたいという。まさにポラスの理念である。